日本防犯設備協会技術標準

SES E 2005-2

ゲート管理装置規格（ホテル用）
Standard for Access Control System(for Hotel)

1998年（平成10年） 3月 20 日 制定 2009年（平成21年） 3月 31 日 改正

ＪＳＳＡ

社団法人 日本防犯設備協会

S E S
E 2005 － 2
（社）日本防犯設備協会技術標準
ゲート管理装置規格
（ホテル用） Standard for Access Control System(For Hotel)
1998 年 3 月20 日制定
2009 年 3 月31 日改正
2009 年 3 月31 日改正

1 適用範囲
この規格は、出入管理装置のうち、ホテルまたはそれに準ずる宿泊施設客室扉の出入管理を目的とする
オフライン式の制動部・電源部一体型のゲート管理装置について規定する。

2 用語及び定義
この規格で用いる主な用語及び定義は、SES E 0001-5（防犯に関する用語）によるほか、次による。
2.1 オフライン式
１ゲート分の単独装置で動作・機能する装置のことを意味し、他のゲート管理装置やカード発行機など
の管理装置と電気的な接続が無く、ゲート管理用情報の授受が運用時のホテルカードの操作または付属機
器により行われるものをいう。
2.2 ホテルカード
ホテル客室扉の解錠およびその管理を目的とする情報を記録したカードをいう。通常、カード・タグな
どの形状で、主として扉に対する鍵の機能を持つ。
2.3 ホテルカード発行機
ホテルカードの発行およびホテルカードへの書込情報の管理を行う装置をいう。
2.4 一時利用者・管理者
ホテル客室を一時的に利用する者を一時利用者とする。ホテル客室の管理を継続的に行うことを目的と
する者を管理者とする。

－1－

SES E 2005-2
3 基本構成
本装置の基本構成は、図1 による。

ホテルカード発行機
ホテルカード読取部表示部
認識部
制御部
判別部
制動部
インタフェース
付属機器部
インタフェース
判別するための情報部
電源部
情報登録抹消部
制動部
制動部
※１
※２
付属機器部
※３
注：※１　分離型もある。
　　※２　付属機器部から入力する場合もある。
　　※３　音、音声も含む。

図1 ゲート管理装置（ホテル用）構成

4 要求基準
次に定める項目以外については、SES E 2002-2（出入管理装置共通技術基準）に準ずる。

4.1 機能
ホテル客室扉のゲート管理は、次の機能を有するものとする。
4.1.1 単独オフライン動作
ゲート管理装置（ホテル用）は、単独で機能しており、次の情報などで運用されること。
 (1) 装置に予め書き込まれた情報
 (2) 内蔵のカレンダ時計機能情報
 (3) 読み取ったホテルカードに記録された情報
4.1.2 適用ホテルカード
適用されるホテルカードは、専用のホテルカード発行機で発行されるカードで、ホテル一時利用者用カ
ードの他に、清掃時や非常時などのホテル運用管理に使用する管理者用ホテルカードがある。
ホテルカードに書き込まれる情報には次の情報が含まれること。
 (1) 他のホテルと重複しない情報
 (2) カード毎の識別情報
 (3) 指定された部屋の情報
 (4) カードを使用できる日時帯情報
 (5) 必要に応じて、一時利用者であるか管理者であるかの情報
4.1.3 判別情報の保持
ゲート管理装置（ホテル用）は、操作されたホテルカードがその日時のその部屋に有効か否かを判別す
るための判別情報を保持すること。
判別情報には以下の情報が含まれること。
 (1) 他のホテルと重複しない情報
－2－

SES E 2005-2
 (2) 他の部屋と重複しない情報
 (3) 日時情報：自動更新される現在の日時
判別情報の入力は、施工時および臨時に、装置への入力操作または一時的に接続される付属機器な
どにより行われる。
4.1.4 情報の判別
読み取った情報が判別情報に合致しているか否かを判別すること。
4.1.5 制動部の制御
判別結果に応じて制動部を解錠すること。
制動部は、制御により解錠し、一定時間または扉開閉動作により自動で施錠する動作を基本とする。
4.1.6 紛失ホテルカードへの対応
ホテルカードが紛失された場合に、容易な操作で紛失したホテルカードが使用不可能になる機能を持つ
こと。
4.1.7 防災への配慮
不特定な利用者の避難を考慮し、退室時の解錠は容易な操作で行えること。
非常時、室外からの救難を目的に、管理者がゲートを解錠できる方法を用意していること。
4.2 性能
4.2.1 電源
標準形状の入手しやすい電池を電源とする。
電池寿命が、一日10 回使用で1 年以上であること。
電池交換時期を、装置の表示・動作により管理者が容易に把握できること。
4.2.2 読取速度
15cm／秒以上 磁気カード式のとき。
4.2.3 内蔵カレンダ時計
月差±15 秒以内。時計の誤差修正を、管理者が、付属機器の接続などにより容易に行えること。
4.2.4 電池交換時の判別情報の保持
電池交換に伴う停電状態の間は、判別情報など運用に関わる情報が保持されること。
5 分以上の情報保持機能を持つことが望ましい。
4.3 運用・操作
4.3.1 表示
 (1) 入出許可・不許可の表示色
動作表示の許可は緑色、不許可は赤色とする。
 (2) 点滅
電池切れ警報などの警報は、赤色点滅させることが望ましい。
4.3.2 音
音を出力する場合には次の音を発すること。ただしON/OFF 機能を有することが望ましい。
 (1) 警告音
断続音とする。
 (2) 操作ガイダンス
カード判別正常･･･････････････短音（1 秒以内）
カード判別異常･･･････････････長音（2～3 秒程度）
4.4 構造・表示
4.4.1 構造
 －3－

SES E 2005-2
 (1) 閉扉時、室外側からは装置の取り外しができないような構造となっていること。
 (2) 管理者が、電池交換を容易に行える構造であること。
 (3) 装置の構造物が、扉の開閉に伴う振動に対し、十分な耐力を持つ構造であること。
4.4.2 表示
「定格表示」、「取扱説明書、据付指示書などの記入事項」については、SES E 2002-2（出入管理装置共
通技術基準）に準ずる。

5 試験
5.1 標準試験状態
(1) 周囲温度 15～35℃
(2) 設置方法 取付けは付属された取扱説明書に従って行うこと。

 関連規格：SES E 0001-5 防犯に関する用語
 SES E 0004-2 環境試験規格
 SES E 2001-2 出入管理装置一般基準
 SES E 2002-2 出入管理装置共通技術基準
－4－

SES E 2005-2
 －5－
ゲート管理装置（ホテル用）規格［解説］

(1) 1 適用範囲
本規格は、ゲート管理装置の内、ホテルまたはそれに準ずる宿泊施設客室を対象とし、制動部までが一
体で扉に取付き、電池を電源とする装置に限定して規定している。各ゲート管理装置はオフラインで動作
するが、ホテルカード発行機で発行されるホテルカードにより、施設内の客室扉全てが管理されることを
特徴とする。

(2) 2 用語及び定義
現在市場に出回っているゲート管理装置の多くが磁気カード式であることを鑑み、磁気カードを想定し
た規格とした。ホテル客室を一時的に利用するための使い捨て紙カードや、管理者および長期滞在者用の
プラスチックカードなどがあるが、情報記録方式や形態は今後各種発生すると思われるので規定していな
い。情報記録が磁気ストライプ以外のとき、または形状がカード型以外のときは、本規格の中の「ホテル
カード」に置き換えて読み、準用するものとする。

(3) 4.2.1 電源
一次電池を想定した規格である。管理運用に係わる寿命と入手し易さを規定した。電池交換を行うこと
が前提となるので、電池交換作業中にも判別情報を保持できる性能と、電池の装着間違えによる電気的・
機械的な損傷が無いような配慮も必要である。
ホテルカード発行機は、停電補償機能を有する電源を持つことが望ましい。

(4) 4.1.7 防災への配慮
ゲート管理装置（ホテル用）は、不特定多数の利用者が使用するので、わかり易い容易な操作で機能す
る必要がある。当然、防災に対する配慮も重要であり、施錠状態でも室内側からは把手の一操作で退出で
きる機能や、管理者が外から強制的に解錠する機能を持つことが望ましい。強制的に解錠する機能として
は、管理者の特殊なカードによる解錠や非常時用鍵での機械的解錠などがある。

審議委員会： 技術部会 技術基準委員会

 委員長 ： 石橋 総太郎 (東洋テック株式会社)
 副委員長： 高橋 雅吾 （パナソニック電工株式会社）

委 員 ：
（警報システム分科会）
 兼主査：高橋 雅吾 （パナソニック電工株式会社）
 加倉井 伸行 （NEC インフロンティア株式会社）
 天野 博之 （オプテックス株式会社）
 住岡 和人 （サクサ株式会社）
 瀬沢 外茂幸 （高千穂交易株式会社）
 緑川 則和 （竹中エンジニアリング株式会社）
 吉岡 隆士 （竹中エンジニアリング株式会社）
 安田 寛徳 （株式会社日本アレフ）
 田中 祥造 （富士通テレコムネットワークス株式会社）
 増田 誠良 （ホーチキ株式会社）
 堂本 耕造 （パナソニック株式会社）
 特別委員：吉原 久雄 （株式会社パトライト）

 （出入管理分科会）
 主査：松尾 直樹 （株式会社山武）
 平田 成弘 （株式会社アート）
 村方 洋二郎 （株式会社ゴール）
 征矢 一浩 （セントラル警備保障株式会社）
 河合 秀規 （ニッタン株式会社）
 秋葉 浩司 （ホーチキ株式会社）
 前田 卓志 （三菱電機株式会社）
 宮本 敦 （美和ロック株式会社）

 （映像監視分科会）
 主査：
 角谷 浩史 （アイホン株式会社）
 藤井 慶太 （NEC インフロンティア株式会社）
 小峰 憲 （株式会社セキュリオン）
 菅谷 卓実 （ソニー株式会社）
 三沢 賢洋 （TOA 株式会社）
 細川 昇 （株式会社日立国際電気）
 堂本 耕造 （パナソニック株式会社）
 宇都宮 孝志 （東芝テリー株式会社）

 事務局：境 俊夫 (社)日本防犯設備協会

※ 平成 21 年 3 月 15 日 現在

SES E 2005-2
ゲート管理装置規格（ホテル用）

発 行 2009 年（平成 21 年）3 月

編 集 社団法人 日本防犯設備協会 技術部会 技術基準委員会

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物です。本書に記載の内
容を転載される場合は、事前に(社)日本防犯設備協会の承諾を得てください。
この規格についての意見又は質問は、(社)日本防犯設備協会 技術担当にご連
絡ください。
なお、SES E 規格は、少なくとも 5 年を経過する日までに(社)日本防犯設備
協会 技術部会の審議に付され、速やかに、確認、改正、廃止されます。

発行所 社団法人 日本防犯設備協会
 〒105－0013 東京都港区浜松町 1－12－4（第 2 長谷川ビル）
 TEL:03-3431-7301 FAX:03-3431-7304 E-mail：info@ssaj.or.jp